

高瀬蔵に一步入ったら何があるかお楽しみ!

蔵まつり開催

午前10時より

★先着200名様に
お祝いの紅白餅を進呈!!

二周年記念 トークライブ

13時30分～(13時開場)

RKKのアナウンサーとして親しまれているキムカズこと木村氏が不慮の事故から新たな自己を見出すまでの貴重な体験談



木村和也氏「再起可能」

先着200名様に入場整理券を配布いたします。
高瀬蔵受付か下記のお問合せ先までどうぞ。

いろいろ市

ボラン
タース
タッフ
募集
中

その他、楽しいイベント盛りだくさん!

Infomation

一斉清掃開催中!

毎月第一日曜日(午前8時より)は、高瀬蔵館内の一斉清掃を行っております。お時間が許される方はご協力をお願い致します。

エントランス展示

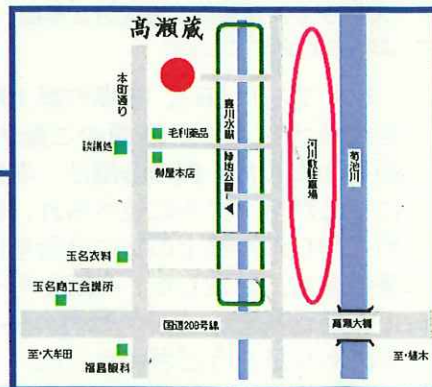
過去2年間の高瀬蔵会報(VOL.1~8)を展示中!

ボランティアスタッフ募集!

イベント開催時のボランティアスタッフを募集します。ボランティアとして参加したいと思う方は、高瀬蔵までお問合せください。



月1回の一斉清掃の様様



平成17年の開館以来、さまざまなイベント行われました高瀬蔵もおかげさまで2年が経ちました。2周年を記念して『蔵まつり』が開催されます。詳しくは、最終ページをご覧ください。



語り部とピアノのコラボレーション 言の葉コンサート



2月18日に語り部とピアノで綴る「言の葉コンサート」作曲家滝本泰三氏の素敵なピアノとフリーアナウンス小出史氏による朗読のデュエット。87歳をは思えない若々しい滝本氏の美



しいピアノに酔いしれあらためて日本語の美しさ、奥深い小出氏の朗読に心を打たれたコンサートでありました。【音楽部会】

PETAライブ

3月18日に全国各地で好評を博しているPETAさんのライブ。高瀬蔵では初のライブでしたが、透き通るようなアコースティックギターの響きと温かい歌声に観客の方も聴き入っていました。また、オープニングアクトとして山鹿出身の徳永伸介氏と玉名出身のいな吉のライブもあり、充実したライブとなりました。



【音楽部会】

西南の役130周年 ~西南の役とまちおこし~

2月27日に今年が西南の役130年の節目となることから商工会議所との共催で「西南の役とまちおこし」展示会・講演会を開催いたしました。講演会では、植木町から勇 知之氏(郷土史家)をお招きして、「高瀬大会戦」や「日赤発祥の秘話」などの題材をもとに「まちおこし」の視点から考えました。また、小蔵ではテーマ毎に錦絵などのパネルの展示会も行われ、たくさんの方で賑わいました。



【文化・まちづくり推進部会】

高瀬の歴史をあらためて実感！

崇城大学サテライト研究室報告会

～高瀬の町のこれまでといま～



真剣に聞き入る参加者の皆さん



2月24日に江戸から明治にかけての町家が残る高瀬地区の町並みを調査・保存・活用法を研究している崇城大学サテライト研究室（秋元助教授）の報告会が開催されました。地元住民を中心に約70名が参加し熱心に聞き入っていました。地域の商店会やNPO法人のメンバーも互いに協力し、高瀬の歴史を活かしながら、まちの活性化を目指そうという連携も図られつつある中において、今回の報告会は高瀬の歴史やまちの奥深さをあらためて実感した実りあるものでした。

【まちづくり推進部会】

【報告会の内容】

1. 高瀬の町の成り立ちと移り変わり

近世、高瀬は恵まれた地理と水運の発展で肥後五ヶ町の一つとして中心的存在である。

2. 町屋からみた高瀬の町並み

特徴的な伝統的町屋が残る。下見板、なまこ壁、水切り瓦、格子など 玄関→母屋→中庭→蔵(離れ)

3. 空地や空家からみた高瀬の町のいま

高瀬地区では空地、空家が増加し対策を講じるが歯止めが利かない。

4. 高瀬のこれからを考える

商業の衰退や高齢化、人口減少を考えると、街なかへの居住人口対策は必要不可欠！

今後、まちづくり会議にも積極的に参加し、研究内容や調査結果の発表を行っていきます！



学生さんとの懇親会の模様

高瀬マイスター倶楽部

【プロの技を体験】



3月10日(土) 菊水堂の山崎講師による、春夏秋冬のお菓子づくり教室が実施されました。今回のメニューは、季節の素材を使った大福。講座はレシピによる説明と山崎さんの実演と参加者も大福作りに加わった内容で、蔵の中は賑わいを見せました。参加者からは「とても勉強になりました。」「習った事を早速、実践して美味しい大福を作ってみます」などの感想が出ていました。

【和ろうそく作り】

2月10日(土)、今年度2回目となる和ろうそく作りが行われました。当日は天候にも恵まれ、参加者は楽しそうにろうそく作りを体験されました。中には、ろうそくを作る過程をメモして熱心に勉強されている参加者も見受けられ、非常にうれしく思いました。

【郷土の味を楽しむ】



大林さんと高瀬のご婦人方2年間おつかれさまでした。

3月18日(日)、初春の郷土料理を味わう、が当会員大林さんと高瀬のご婦人方の協力により催されました。鯛の酢漬け、赤飯、白和えを中心に6品がテーブルに並べられ、参加者は、心を込めて作られた郷土の味に会話をはずませながら、箸を進めていました。今回をもって、大林さんによる郷土料理シリーズは終わる事になります、2年間ありがとうございました。

【文化部会】

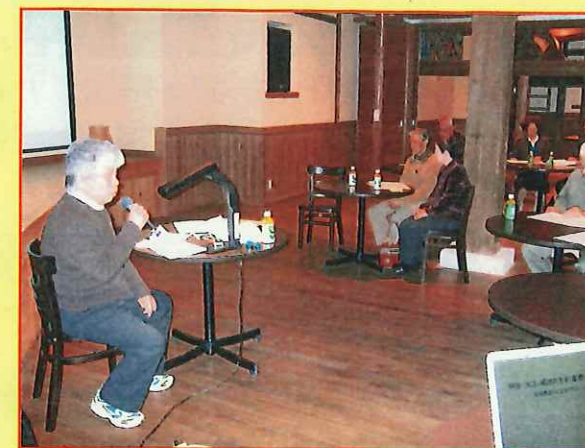
高瀬夜新

本年度第11夜(1月26日)は横島町の田上克昭氏及び田上氏の仲間達による、横島干拓に伝わる労働歌(湯担い節)について話していただいた。子供達による踊りの披露あり、大人の方によるコーラスありと、いつもと違う夜新に蔵のホールは熱気を見せていた。



横島干拓に伝わる湯担い節の熱唱

第12夜(2月23日)は、荒木誠二氏ご夫妻をお迎えし、(団塊おしどりの史跡行脚)と題し、これまで夫婦による玉名の歴史とのゆかりを探し、県内外への旅、約100回について、話していただいた。各地の歴史と玉名の歴史がどう関わっているのか、私自身も始めて知る事ばかりで、非常に勉強になったと同時に郷土の歴史に改めて思いをむけてみたくなった。



第13夜(3月23日)は地元(高瀬)にお住まいの、宮崎 孝氏をお迎えして、(明治・大正・昭和の玉名(高瀬)の金融史)と題し話していただいた。明治から大正時代にかけて、高瀬蔵の周辺には、金融機関が5つも存在し、玉名のウォール街とも言うべく、賑わいを見せていたとのお話。金融機関の歴史を通じて、当時の玉名の経済を知る事ができ、参加者も興味深く、話に聞き入っていた。